

大陸に学んだ国づくり

—飛鳥・奈良時代—

6年社会 5月 30Q (10時間)
 附属新潟小学校 教諭 大矢 和憲

1 目指す姿

- 国内の状況と中国（隋や唐）の状況に関係付けて天皇を中心とした国づくりをしたことの意味をとらえる子ども
- (1) **中核的な学習内容**：国内の状況と中国（隋や唐）の状況に関係付けて天皇を中心とした国づくりをしたことの意味をとらえること
- (2) **学びをつなぐ力**：
 - ① 比較するすべを用いて、2つの事象の共通点や相違点（変化）に気づき、驚きや疑問を見いだす力
 - ② これまでの学習で得た知識（既有事項）を想起しながら、学習問題の解決につながる情報（状況や立場、事実など）を見いだす力
 - ③ 関係付けるすべを用いて、学習問題の解決につながる複数の情報を結び付け、事象の意味（課題解決に必要な情報）を考える力

2 単元の計画

	【学習活動】☆つなぐ力	【働き掛け】	Q	
一 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大仙古墳と法隆寺の写真を比べ、学習問題をつくる。 ◎ 聖徳太子は、なぜ古墳ではなくて寺を建てたのだろうか。 ○ 聖徳太子と仏教について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏教の教えを基に、冠位十二階と十七条の憲法がつけられた。 ○ 調べて分かったことを基に、学習問題についてのストーリーを考える。 ○ 学習のまとめをワークシートに記述する。また、「社会科日記」を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大仙古墳と法隆寺の写真を提示し、驚いたことや疑問に思ったことを問う。 ※ 法隆寺については以下の説明をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現存する世界最古の木造建築で1993年に日本初の世界遺産に登録された国宝であること。 ◆ 聖徳太子が建てたということを伝え、これからみんなで考えたいことを問う。 ◆ 仏教が百済から伝わったこと、近隣諸国が仏教を取り入れていたこと、仏教の特色が分かる資料を提示する。また、当時の東アジアの地図を提示し、分かったことや考えたことを付箋紙に書かせる。 ◆ 小グループにストーリーマップを配付し、学習問題についてのストーリーを問う。 ◆ 宿題として社会科日記を書かせる。 ◆ 冠位十二階と十七条の憲法を提示し、2つの事象のよいところを問う。 ◆ 宿題として社会科日記を書かせる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ この時代に日本に仏教が伝わり、聖徳太子は周りの国々のように仏教の教えを基に国づくりを進めようとした。それで法隆寺を建てたんだ。 ○ 冠位十二階と十七条の憲法について調べ、2つの事象の価値を考える。 ○ 学習のまとめをワークシートに記述する。また、「社会科日記」を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小野妹子のイラストと、聖徳太子の手紙を届けた際のエピソードを提示する。 ◆ 遣隋使が何度も派遣された事実を提示し、疑問に思ったことを問う。 ◆ これからみんなで考えたいことを問う。 ◆ 遣隋使に関する資料を提示し、分かったことや考えたことを付箋紙に書かせる。 ◆ 小グループにストーリーマップを配付し、学習問題についてのストーリーを問う。 ◆ 宿題として社会科日記を書かせる。 ◆ 遣隋使の派遣が無くなった事実を提示する。 ◆ 隋と唐の地図を示す。 		21 Q 7 時間
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聖徳太子は仏教の教えを政治に取り入れて冠位十二階や十七条の憲法をつくったんだ。 ○ 遣隋使の派遣の事実から、学習問題をつくる。 ◎ なぜ、遣隋使を何度も送ったのだろうか。 ○ 遣隋使が果たした役割を調べる。 ○ 調べて分かったことを基に、学習問題についてのストーリーを考える。 ○ 学習のまとめをワークシートに記述する。また、「社会科日記」を書く。 ○ 遣隋使の派遣が無くなった事実から、学習問題をつくる。 ◎ なぜ、遣隋使が送られなくなったのだろうか。 ○ 当時の中国の地図を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 聖徳太子による国づくりと大化の改新による国づくりを提示し、気付いたこと、疑問に思うこと、これからみんなで考えたいことを問う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国では強大だった隋が減んで、さらに強大な唐という国になったんだ。 ○ 聖徳太子による国づくりと大化の改新による国づくりとを比べ、学習問題をつくる。 ☆つなぐ力① 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 聖徳太子による国づくりと大化の改新による国づくりを提示し、気付いたこと、疑問に思うこと、これからみんなで考えたいことを問う。 【働き掛け1】 		

	<p>◎ なぜ、蘇我氏を倒してまで、天皇を中心とした国づくりをわざわざ行ったのだろうか。</p> <p>【既有事項】 聖徳太子の政治・隋や唐・大化の改新の知識</p> <p>○ 資料（「対象」）を調べる。 ★つなぐ力②</p> <p>○ 学習問題の解決につながる情報を小グループで整理し、ストーリーをつくる。</p> <p>○ 全体で学習問題の結論を考える ★つなぐ力③</p> <p>○ 資料を確かめ、学習のまとめをワークシートに記述する。また、「社会科日記」を書く。</p> <p>○ 豪族が争ったり、自分勝手に政治をしたりしていたら、国が弱くなって隋や唐に攻め滅ぼされるかもしれない。だから隋や唐に学んで天皇を中心とした強い国をつくらうとしたんだ。</p>	<p>◆ 当時の国内の状況と中国・朝鮮の状況が分かる資料（「対象」）を提示し、分かったことや考えたことを付箋紙に書かせる。 【働き掛け2】</p> <p>◆ 小グループにストーリーマップを配付し、学習問題についてのストーリーを問う。 【働き掛け3】</p> <p>◆ 事実が分かる資料を提示し、学習のまとめを記述させる。 【働き掛け4】</p> <p>◆ 2つのふり返りの観点を示し、社会科日記を書かせる。 【働き掛け5】</p>
<p>二 次</p>	<p>○ 平城京の様子や木簡と特産物の地図などを調べる。 ・ 天皇の力が強くなって全国に広がったんだ。</p> <p>○ 山上憶良の詠んだ歌や、税の実態、農民のくらしを調べる。</p> <p>○ 調べて分かったことをまとめる。</p> <p>○ 天皇中心の強い国になったけれど、農民にとっては辛い時代だったんだ。</p> <p>○ 東大寺の大仏づくりについて調べ、学習問題をつくる。</p> <p>◎ 聖武天皇は、なぜこれだけ大きな大仏を造ったのだろうか。</p> <p>○ 当時の世の中の様子や国分寺の分布図、大仏建立の詔などから、大仏を造った目的について調べる。</p> <p>○ 学習問題の解決につながる情報を小グループで整理し、ストーリーをつくる。</p> <p>○ 資料を確かめ、学習のまとめをワークシートに記述する。また、「社会科日記」を書く。</p> <p>○ 聖武天皇は、仏教の力で国を良くしようと考えて大仏や国分寺を造ったんだ。この頃天皇の力は全国に広がって、だから当時の寺や特産物が今でも残っているんだ。</p>	<p>◆ 平城京の復元図や木簡と特産物の地図を提示し、気付いたことを問う。</p> <p>◆ これらのことから考えられることを問う。</p> <p>◆ 山上憶良の詠んだ歌を提示し、気付いたことを問う。</p> <p>◆ 税の実態や農民のくらしが分かる資料を提示する。</p> <p>◆ 分かったことや考えたことを説明させる。</p> <p>◆ 宿題として社会科日記を書かせる。</p> <p>◆ 東大寺の大仏のデータと造営の様子を提示し、疑問に思ったことを問う。</p> <p>◆ これからみんなで考えたいことを問う。</p> <p>◆ 大仏の造営に関する資料を提示し、分かったことや考えたことを付箋紙に書かせる。</p> <p>◆ 小グループにストーリーマップを配付し、学習問題についてのストーリーを問う。</p> <p>◆ 宿題として社会科日記を書かせる。</p>

9
Q
3
時間

3 内容の関連

〔第6学年〕飛鳥・奈良
○中核的な学習内容
：当時の国内の状況と中国の状況に関係付けて天皇を中心とした国づくりの意味（目的）をとらえること

〔第6学年〕江戸末・明治
○中核的な学習内容
：当時の国内の状況と欧米諸国の状況に関係付けて天皇を中心とした国づくりの意味（目的）をとらえること

〔第6学年〕昭和・平成
○中核的な学習内容
：国内の状況と諸外国の状況に関係付けて国民主権の国づくりの意味（目的）をとらえること

